

おさかな瓦版 No.47 アカモク

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-03-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 水産総合研究センター メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2000541

おさかな瓦版



No. **47**
2012.6

シリーズ：日本海のさかなたち 第8回

アカモク



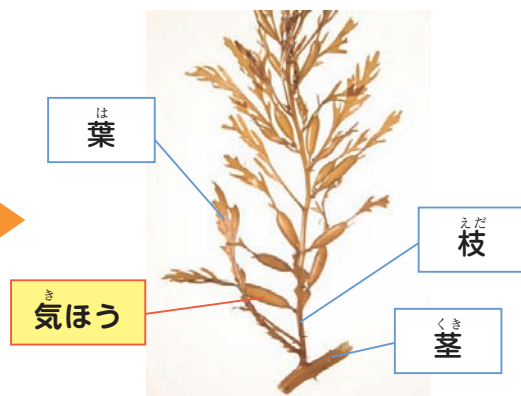
ふーちゃんのトピックス

すいさんそうごうけんきゅう
水産総合研究センター Web サイトに
キッズページができました！

アカモク ～ 海に森をつくる海藻 ～



カメラ 1-a. アカモク



カメラ 1-b. アカモクのきほう

アカモク（カメラ 1-a）は、北海道から九州までの沿岸で、浅いところの岩場に生えている茶色の海藻です（ワンポイント）。日本海側の地域では「ながも」、「ぎばさ」、「神馬草」などと呼ばれ、昔から食べられていました（カメラ 2）。食感はシャキシャキして、めかぶのように粘りがあり、健康によいミネラルやフコイダンなどの成分が含まれています。



あんじいの
ワンポイント
アドバイス

海藻と海草

陸の草木と同じように栄養を吸収する根があり、花が咲く種子植物が海草で、それ以外を海藻というのじゃ。みんなが食べる「のり」や「こんぶ」、「わかめ」などは海藻じゃよ。

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

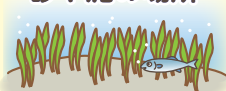
岩場



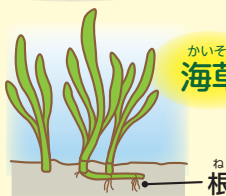
海藻



砂や泥の場所



海草





📷 2. アカモクのサラダ



アカモクの
アカモックン

ボクは栄養があつて
おいしいんだよ！
どんどん食べてね。

アカモクは、茎から枝がのび、そこにたくさんちいの小さな葉がついた形をしています。
高さは1～4メートルにもなります。また、陸の草木にはない「気ほう」という小さな浮きぶくろがたくさん付いています（📷 1-b）。この気ほうが浮くため、波でちぎれたりしても、アカモクは海に浮いてただよいなが流れます（📷 チェック）。

アカモクがたくさん生えている場所はまるで森のように見えます。このように海藻や海草がつくる海の森は藻場と呼ばれ、魚、貝、イカなどが卵を産んだり、小魚が身をひそめたり、えさを食べたりする場所となります。

アカモクの寿命は1年です。冬から早春にかけて子孫を残すと枯れてしまうので、夏

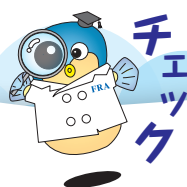
にはまだ大きく育ったものは見られませんが、岩場を注意して見てみると、精子と受精した卵から発芽し、少し大きくなったアカモクの芽生えを見ることができます（📷 3）。

アカモクは食べておいしく、海の中では生き物たちの大切な生活の場をつくりまします。しかし、アカモクをはじめとした海藻や海草は、海の環境が変わると育ちが悪くなったり、姿を消してしまったりすることがあります。水産総合研究センターでは、海藻や海草の生活を調べ、海の水温などの変化で藻場がどうなるのか研究を進めています。

（阿部 信一郎・坂西 芳彦）



📷 3. アカモクの芽生え



ながも 流れ藻

海をただよっているアカモクなどの海藻は「流れ藻」と呼ばれ、ブリやマアジなどの子どもが生活する場所や、サンマ、サヨリ、トビウオなどが卵を産む場所になります。流れ藻がどこまで流れていくのか調べてみたところ、兵庫県の日本海沿岸で目印をつけた流れ藻が、青森県の太平洋沿岸まで流れてきたこともありました。

色々な魚のやりかごに
なっているんだね



水面に浮いたアカモク





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

キッズページ ▶ <http://www.fra.affrc.go.jp/forkids/>

すいさんそうごうけんきゅう
水産総合研究センターのトップページの
バナーからもキッズページにいけるよ。



すいさんそうごうけんきゅう

水産総合研究センター Webサイトに キッズページができました！



すいさんそうごうけんきゅうと
水産総合研究センターで取
り組んでいる研究や技術開発、
すいさんぎょう
水産業のしくみなどをわかりや
すく紹介したキッズページを
オープンしました。ぜひ見てね！

へん～ おさかなのことが
いろいろのっているね。



ふりがなも
つけられるよ

体験館では、季節によっては、サケの産卵や卵から産まれたばかりの赤ちゃんを見たり、サケの子どもた
ちにえさをあげることができます。

また、ビデオやパネルで、サケの子どもを卵から育てて、増やすさいばい漁業や、サケのふしぎなどを学
ぶことができます。



ビデオを見てサケの産卵をしよう



卵から産まれたサケの赤ちゃん

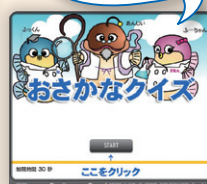


サケの子どもにえさをあげてみよう



えさを食べるサケの子どもたち

クイズにも
挑戦してみてね！



このさかな
見覚えあるぞー！



おさかな瓦版 No.47 (2012年6月発行)

編集・発行：独立行政法人 水産総合研究センター

質問の送り先・お問い合わせ先：広報室

〒220-6115 神奈川県横浜西区みなとみらい2-3-3

クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のこ
とでわからないことがあったら、広報室までハガ
キを送ってね。＜聞きたいことの内容＞、＜学年＞、
＜住所＞、＜名前＞を忘れずに書いてね。ふっくん
が「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



アカモクの森

(写真提供：東京海洋大学 前田 陽一)